

白山手取川ユネスコ世界ジオパークを若い人にも！



ほうらい祭り語り部活動

竹本 ちえり(たけもと ちえり)
石川県立鶴来高等学校 2年

白山手取川ユネスコ世界ジオパークを若い人にも！

竹本 ちえり



活動概要

活動の内容

「白山手取川ユネスコ世界ジオパーク」。熱い思いをもって取り組まれている地域の方がたくさんいる中で、高校生をはじめ保全や活用に向けた熱量には温度差があります。私は鶴来高校でジオパークの活性化などの地域活性化に取り組む地域探究会に所属し、先輩たちの活動を引き継ぎ取り組んでいる。夏から秋にかけて仲間たちと「日本ジオパーク全国大会」「ほうらい祭り語り部活動」「おついたちマーケットボランティア」などの活動に参加しました。独自にジオパークを公共交通機関で回ることができるパンフレットを作成予定です。

活動の特徴(新規性・発展性)

ジオサイトには白山麓地区をはじめとした地域に多いです。自家用車を持たない若者には限られた公共交通機関を乗り継いでジオサイトを回る必要があるが、まとまった情報がなく、周遊することが難しいという課題がある。そこで私は公共交通機関を上手に使うことで白山麓のジオサイトを見学できるツアーのモデルコースを作成し、パンフレットで広報活動を行うことにした。

活動の成果

地域探究会のメンバーには地域を好きになり地域活性化に興味をもつメンバーが増えています。先輩方の中には活動を通して、地域活性化に関して大学で深く学んでいる方もいる。校内で私たちの活動の発表をする機会も多く、興味をもって地域探究会に新しく参加する人も増えてきています。パンフレットが完成したら、近隣の学校等にも配布して、多くの人がジオパークを体験してもらおう機会を増やしていきたいです。

課題の設定と意図

地域探究会に入り、ジオパークや地域のことについて知ることで、もっと多くの人に広めていきたいと思った。地域探究会の活動を通してたくさんの人と関わり、学んでいく中で、自然が豊かでユネスコ世界ジオパークにも認定された白山手取川ジオパークが、今後も「多くの人に愛され、残り続けてほしい」という思いが自分の中で強くなったからである。活動を通してジオパークが、特に若い世代の人たちにあまり知られていないという現状を知って、このままでは今後ジオパークの探究や広めていく活動をしていく人が、少なくなってしまうと思い、どうにかできないかと考え、探求を始めました。実際に私自身も高校で地域探究会に入るまで、ジオパークという言葉は聞いたことがあっても、意味までは知る機会がなく関わることもなかったので、この現状を改善し、認知度を上げることができれば、今後ジオパークの活動をしていきたいと積極的に考えてくれる人も出てきて、ジオパークが今後も守られ続けていくのではと思いました。白山手取川ジオパークの魅力がたくさんの人に広めて、人で賑わう明るい地域をつかっていきたいです。

課題解決のための仮説と計画

まずは地域探究会の活動を通して、私たち高校生が白山手取川ユネスコ世界ジオパークへの興味関心を高めることが重要であると考えた。特に私は青森県下北半島ジオパークで開催される日本ジオパーク全国大会へ参加する中で、全国の皆さんとの交流を通して、自分たちの地域の良さや課題に気付く機会がありました。全国大会の口頭発表では自分が話すことで精一杯になり、聴衆の皆さんに本当に白山手取川ユネスコ世界ジオパークの魅力を伝えることができているか、疑問が残りました。またコースセッションではグループの活動の際に積極的になることができず、自分の考えを表出することができなかった。その経験が生き、ほうらい祭り語り部活動やおついたちマーケットボランティアなどの活動では延べ50名ほどの鶴来高校のメンバーとともに、参加することが出来、地域やジオパークを身近に感じてもらうことができたと思う。

「より積極的にジオパークの活動に取り組みたい！」と思った私は、語り部活動などの地域探究会の活動と並行して、白山手取川ジオパークのツアー経路を組んでそれをSNSで発信する、という探究計画の仮説を立てました。しかし発信用のアカウントがなく、新しく作成するとすると、どうしてもフォロワーが少ないため、多くの若者の目に届かないのではないかと考えました。若い人たちの目につきやすくするためには、学校の先生方の協力や通学の際に触れる機会を設けることが効果的ではないかと考えました。そこでパンフレット形式にし、学校でのジオパーク学習の際に配付したり、駅においていたりすることで若者の目に触れる機会が多いのではないかと考えました。冬以降も地域探究会の活動は続き、小中学校での出前授業も予定されているので、同時に配付することを計画しています。



ジオパーク全国大会



語り部活動に向けてフィールドワーク

活動で工夫できたこと

合宿で私は地域の課題を見つける能力や、探究においてのテーマ、仮説の立て方などを学びました。地域の課題はまず私たちを取り巻いている環境について知り、理解を深めることで自分がどういう地域づくりを目指したいかを改めて考え、その中でそれぞれの地域の課題を見つけることができました。その課題から理想の地域像をテーマとし、実現させるための仮説を考えました。より深い仮説を立てるために対象を決めたり、様々な考えをし、いろいろな角度からテーマについて考えたり、自分の好きなものとかけ合わせたりすることを学びました。ここで身につけたこと、またその他の経験の中で得たことを活かし、探究活動では仮説を立てる際、若い世代の人を対象を絞り、移動方法や金銭面などを考慮し、経路を組みました。また、パンフレットのデザインは目を引きやすいカラフルなものにして、少しでも手に取りやすいものになりたいと思いながら作りました。実践活動では、発表をする際に台本を見すぎにならないように、相手の目を見て話したり、ゆっくり聞き取りやすいように話したりするなど、様々な方々の発表を聞き得たことを自分にも取り入れられるように工夫しました。地域や白山手取川ジオパークのことを紹介するときは、語り部やジオパーク全国大会などの活動で得た知識を活かしたり、探究活動で得た知識やフィールドワークを通して学んだことも活かすことができました。



地域探究会が石川県県民ボランティア表彰を受けました

活動で得た学び・気づき

高校に入学してから、多くのジオパーク活動に参加させていただき、どの活動も自分にとって非常に貴重で刺激的な経験となっています。OR合宿では、自分の中で今まで曖昧だった探究の活動が身近になり、深めることができる機会となりました。探求のテーマや仮説を具体的に決め、自分だけでは不十分であったところも一緒に合宿している仲間からのアドバイスを受け、より深く活動に取り組むことができました。また、最後の発表を通して、自分のまだまだ力不足なところやもっと改善ができるなと思うところも見つけることができ、自分の成長につながりました。ジオパーク全国大会には一年生と二年生のときの二回参加することができ、全国各地から集まった多くの方々と交流することができました。ステージ発表やポスター発表では、他県のジオパークの活動や取り組みについて学ぶことができました。また、上手な方の発表を聞くのはとても勉強になる機会であり、自分自身の成長につながることも活動のモチベーションがさらに高まる機会となりました。コースセッションでは出題されたお題を通してジオパークについて学び、実際に街を巡ることで楽しみながらジオパークを感じることができました。地域探究会での語り部活動は、聞きに来てくれたお客さんに鶴来の魅力を伝えることができる機会であるとともに、私自身も鶴来について学ぶことができる活動でとても勉強になっています。事前勉強会ではみんなで集まって、発表する内容を読み、理解をより深めることができました。発表も回を重ねるごとに余裕が出てきて、自分なりに工夫を加えられるなど自身の成長を感じられました。なにより鶴来の歴史や魅力をたくさんの方に伝えられることが嬉しいことであり、今後も多くの人に鶴来のことを広めていきたいと思いました。また、おついたちマーケットのボランティアではお客さんにチラシを配ったり、ゴミ捨てをしりする中で、スタッフとして周りに目を配りながら動くことを学びました。自分から積極的に挨拶をし、案内をして、質問に答えるなどのことは今後の自分のためになる貴重な経験でした。現在取り組んでいる探究のパンフレット作成では、デザインを考える難しさ、バスの時間も考えて経路を組む難しさなど様々なことを感じました。どのようなデザインなら手に取りやすいか、どのような配色にすれば目を引くか、などを考えて作ることは難しいながらも新しい挑戦として自分のためになったと感じました。

今後の展望・新たな取り組み

私はジオパークの活動に携わるようになって日本ジオパーク全国大会で青森県下北半島ジオパークや千葉県銚子ジオパーク、探究活動に関して岐阜県関市や岐阜市など多くの他地域へ出かけての交流やフィールドワークを重ね、たくさんの経験を重ねることができました。様々な経験を踏まえ、私はこれからもジオパークについて深く知り、地域をより良くするために活動していきたいと思っています。まずは今行っている探究活動を進め、作成したパンフレットを活用し結果を出したいと考えています。再度白山手取川ユネスコ世界ジオパークの事務局の皆さんに内容を精査して頂き、高校生の作ったパンフレットというだけでなく、実際に観光客の皆さんや手に取った若者が興味をもって貰ったうえで、正しいジオパークの理解につなげることでできるものにしていきたいです。またパンフレットを白山市観光協会や北陸鉄道や北陸鉄道バスにも持ち込んで、活用を通じた地域振興に少しでも貢献できればうれしく思います。来年度も今回の探究活動の成果を活かして、地域探究会のメンバーと協力して、活動を広げていき、後輩たちにも引き継ぐことができる活動としていくことができればと思っています。今年の冬には地域の小中学校で開催されるジオパークの出前授業も計画されています。白山手取川ユネスコ世界ジオパークの魅力や活用について、私の作成したパンフレットや発表、ジオパークゲームを通してより若い世代に伝え、これからの活動を担うことができる若者の輪をより広げていきたいと考えています。高校を卒業した後は大学に進学したいと考えてはいても、具体的にやりたいと思うことはまだ見つからず、いくつかの興味のある分野で迷っています。そのなかの一つである観光学については今までの地域探究会でしてきたフィールドワークや、より良い地域づくりなどの活動ともつながり、生きる分野であると思い、今後ともこのような活動を通して将来自分がしていきたいと思うことを見つけていきたいと思いました。これからも自分の興味があることや関心があることの探究を続けていき、活動に積極的に参加することやネットワーク軽く、いろんな地域に自分で足を運ぶ活動を続けていきたいと考えています。それらの活動を通して、社会人になった後も地域を元気にして、そこに住む人たちが自分の地域を好きになり、誇りを持てるような手助けができるようになっていきたいと考えています。

実践活動時の動画や成果物等

動画URL	二次元コード	添付PDF なし

1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	個人	ブロック	中部
---------	---	---------	----	------	----

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立能登青少年交流の家	修了日	2024/7/21	カリキュラムのタイプ	B
フィールドワークの内容					
実践活動期間	2024/7/23 ~ 2024/12/12				
活動のタイプ	発展的な活動				
これまでの活動について	校内の地域探究会では白山手取川ユネスコ世界ジオパークの発信や地域産業の見学、他地域の高校生との交流などに取り組んできました。近年はメンバーの個人的な興味をもとに探究活動を基準として活動を広げています。				
共同実施者	有	鶴来高校地域探究会の活動として今年度は23名の部員とともに活動している。			
協力者	主な協力者		協力内容		
	所属	白山手取川ジオパーク推進協議会	ジオパークの専門的な知識や大会のコーディネート		
	氏名	日比野剛さん			
	所属	NPO法人加賀白山ようござった	語り部活動の指導と司会進行		
	氏名	山岸外司憲さん			
	所属	一般社団法人鶴来Re研究所	おついたちマーケットの運営、ボランティア指導		
	氏名	舘喜洋さん			
協力者総数	10名	協力団体数	3団体		

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 19 日

事前:準備・打合せ	10日	本番:メインの活動	6日	事後:ふりかえり・報告	3日
-----------	-----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
新聞	取材された	1回	日本ジオパーク全国大会での発表を東奥日報と北國新聞に取り上げられた。
新聞	取材された	1回	ほうらい祭り語り部活動の様子を北國新聞・北陸中日新聞に取り上げられた。
その他	自ら発信	1回	校内の地域活動発表会で活動の内容を報告した。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
8/21 ~ 8/29	①事前学習・打合せ等	鶴来高校	ジオパーク全国大会にむけた準備を地域の方を講師に行った。
8/30 ~ 9/1	②実践活動本番	下北半島ジオパーク	活動の口頭発表と他地域の中高生との交流を通して魅力を伝えあった。
9/14 ~ 9/17	①事前学習・打合せ等	横町うらら館	語り部活動に向けての学習会とフィールドワークを行った。
10/5 ~ 10/6	②実践活動本番	横町うらら館	ほうらい祭り語り部活動で来館者の皆さんに地域の歴史や文化を伝えた。
11/2 ~ 11/2	③事後打合せ・報告会等	鶴来高校	校内で地域活動を報告した。